

いと願っているのは当然か。

⑦ 老後は子どもと同居しなくても、近くには住みたい。

「どちらかといえばそう思う」が47.2%、「そう思う」が32.2%。加えれば、ほぼ⑥と同様の結果となる。子どもには迷惑をかけたくないとはいえ、孫の顔を見たいという気持ちもある。また緊急時には近くに子どもがいれば無理を言いやすい、などの気持ちが推察される。

⑧ 自分の墓には、子どもや孫がお参りしてほしい。

「そう思う」が37.7%、「どちらかといえばそう思う」が36.6%。あわせると前2つと同じ結果だが、「どちらかといえばそう思う」より「そう思う」が上回っている点に特徴がある。やはり帰るところは、家族のもとなのだろうか。こうしてみると、少子化という社会的現象と、家族の絆という社会的規範が相互に関係しあっていることが推しはかれる。これからどのような関係を取り結んでいくのか興味深い。

## 6. 子育て支援について

Q31では政府の少子化対策の必要性をたずねている。

「ある程度必要である」と答えた人（45.5%）と「必要である」（40.4%）を加えると、85%以上の人々が政府の政策を求めている。

Q32では、子育て政策に対し、4つの選  
択肢から選んでもらった。次のような優

先順位が明らかになった。

群を抜いて多いのは、「育児への経済的援助」（47.2%）である。次は「保育所、地域での子育て支援などサービスの充実」（28.6%）であり、「育児休業制度の拡充や再就職支援など働き方の改善」（20.3%）が続く。

Q33では、育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますかとたずねている。重要と思う順に3つまで記入してもらった。選択肢は14と多い。これはより実現可能な政策を想定しておこなったためである。参考までにその選択肢を列挙すると、

- ① 育児休業中の貸し金補償の拡大。
- ② 育児休業後の職場復帰の保証。
- ③ 育児休業期間の延長。
- ④ パートタイム労働の賃金や雇用保障の充実。
- ⑤ 育児のための短時間勤務制度。
- ⑥ 残業時間を含めた労働時間の短縮。
- ⑦ フレックスタイム制の摘要。
- ⑧ 在宅勤務の充実。
- ⑨ 職場保育の充実。
- ⑩ 子どもが急病になったときの看護休暇。
- ⑪ 子育て後の再雇用制度や再就職支援制度。
- ⑫ 職種によるコース別の雇用管理。
- ⑬ 育児期間中の上司や同僚の理解。
- ⑭ その他（記述）

選択はかなり多岐に分かれたが、重要度1位にランクされた項目の中でトップは、②の「育児休業後の職場復帰」（18.6%）、つづいて、⑬「育児期間中の

上司や同僚の理解」(15.8%)、⑩「子どもが急病になったときの看護休暇」(10.3%)と続いている。)2位にあげた中での上位3項目は、「子どもが急病になったときの看護休暇」、「育児のための短時間勤務制度」、「育児休業後の職場復帰」となっている。また、3位にあげた中での上位3項目を見ると、「育児期間中の上司や同僚の理解」、「子どもが急病になったときの看護休暇」、「育児のための短時間勤務制度」があげられる。改めてこれらの結果から切実な職場環境の整備として、あげられるものは、「育児休業後の職場復帰」、「育児期間中の上司や同僚の理解」、「子どもが急病になったときの看護休暇」「育児のための短時間勤務制度」があげられる。

Q34では、育児と仕事の両立のために保育所サービスの充実として重要と思われるものを1位から3位まで記入している。選択肢は、Q33と同様の趣旨で、11項目用意した。

- ① 保育所の時間延長。
- ② 保育料の低減化。
- ③ 休日保育の充実。
- ④ 夜間保育の充実。
- ⑤ 0歳児保育の拡充。
- ⑥ 駅前保育の充実。
- ⑦ 訪問保育の充実。
- ⑧ 学童保育の充実。
- ⑨ 保育に関する相談機関の充実。
- ⑩ 地域ボランティアの充実。
- ⑪ その他(記述)

選択は①と②に集中した。重要度1位にランクされた項目の中では、「保育料の

低減化」(37.8%)、「保育時間の延長」(36.7%)がずば抜けて他を引き離している。第2位においてもこの傾向は変わらない。第3位には、ほぼ均等に、「学童保育」、「駅前保育」、「保育料の低減化」、「時間延長」、「夜間保育」などが連ねている。

最後に、自由回答の中から、30代で子どもをもつ、男女一人ずつの意見を載せて締めくくりに代えよう。

男性は、31歳正社員。「子育ては確かに仕事に対する時間を少なくするし、金銭的にも大きな負担となる。独身時代や子どものいないときに比較すると、自分にとっての自由度はかなりきつくなってしまふ。そのため、子育てを躊躇してしまいがちである。それをできるだけ軽減するためには、国を挙げて子育てをしている家族を、幸せな家庭と考えられるようなイメージを社会に浸透させることが必要と思われる。特に第2子以降を育てている家庭には、相当な負担がかかるので、子どもの医療制度の無料化など、経済的な支援が一番必要と思う。」

女性は30歳パート社員。「現在子どもを保育園に通わせているが、その中でも自治体からの福祉面への対応がどんどん厳しくなっているのを感じる。仕事をしている女性には経済的な理由だけでなく、自分がしたいから仕事をしている人がたくさんいる。これだけ女性が仕事を持つことが普通の世の中なのに、仕事のことを考えると子どもをほしいと思っても産むことを考えてしまう人がたくさんいると思う(私もその一人です)。育児休

暇のことなど企業にばかり押し付けていないで、0歳児保育の充実や、保育園を増やすなど、もっと母親が安心して仕事のできる環境を考えてほしい。そうすれば子ども一人を産むことにこんなに悩まなくて済むと思う。」

#### E. 結論=

第1次から第3次にわたって、調査対象は、大都市、しかも30代を中心に意識調査を行ってきた。この世代の勤労者にとって、仕事と家庭・育児の両立は、身近な性別役割分担意識を変革し、両性の共同的責任の意識を高め、ひいては自立した社会単位を作り上げていく上で重要であろう。また、未婚者にとって異性との出会いの機会は以前よりずっと増えてい

ると思われるが、理想の相手に出会うことは、なかなか難しく、出会えなければ結婚しなくてもよいと考える人が、結婚したいという人を上回っている。このことは、雇用情勢の悪化や長期的な不況を背景として、今後の動向が注目される。

企業にあっては、雇用の安定と子育て支援を経営戦略の中の柱として据えることが引き続き課題となっている。公的支援については、育児休業中の賃金補償の拡大や子どもが急病になったときの看護休暇などが特に期待されているといえよう。少子化「問題」へ施策にとって必要なのは、政策の総合的つながりと家庭、企業、公的支援とのそれぞれの相互の関係の変革にあるといえよう。

# 家族と仕事についてのおたずね

<Z1152Z>

2000年1月

拝啓

時下、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
いつも私どものアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

さて、このたび弊社では、『家族と仕事についてのおたずね』を実施することとなりました。

この調査は、皆様の「家族と仕事」についてのご意見などを伺い、今後の基礎資料に役立てようとするものです。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

なお、些細ではありますが、ご協力のお礼として図書券を同封いたしましたので、ご笑納ください。

末筆ながら、ご家族皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

- この調査は、宛名の方ご本人様 がお答えください。
- ご記入は、えんぴつか、黒または青のボールペンでお願いします。
- ご回答は、当てはまる番号に○印をつけていただくものと、具体的に数字や言葉をご記入いただくものとがございます。
- 質問によっては、ご回答が1つだけのもの（○は1つだけ）と、いくつでもお答えいただくもの（○はいくつでも）がございますので、ご注意ください。
- お答えいただいた内容によって、次にお伺いする質問が分かれる場合があります。その場合→の指示に従ってご記入を進めてください。
- ご記入が終わりましたら、記入もれ等がないかももう一度お確かめの上、

2月7日(月)までに ご投函ください。

※ ご不明な点等ございましたら、お気軽に下記担当者までご連絡ください。

≪ご記入にあたって≫

**■はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。**

F1 あなたの性別をお答えください。

1 女性                      2 男性

F2 あなたの年齢をお答えください。

歳

F3 あなたは、現在結婚されていますか。(○印はひとつだけ)

- 1 結婚していない  
 2 結婚している(初婚) → 結婚(      )年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください  
 3 結婚している(再婚) → 現在の配偶者と結婚(      )年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください  
 4 離別  
 5 死別

F4 女性の方におたずねします。あなたは専業主婦ですか。

1 はい                      2 いいえ

F5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○印はひとつだけ)

1  子供がいる → (      )人

2  子供はいない

**◎第三子までの性別と年齢をご記入ください**

→ 第一子 → (1 男性 2 女性) 満(      )歳

第二子 → (1 男性 2 女性) 満(      )歳

第三子 → (1 男性 2 女性) 満(      )歳

※すべて1999年12月31日現在でご記入ください

F6 現在、あなたと一緒に住まいの方の人数は、あなたご自身を含めて何人ですか。

◎あなたご自身を含め  人

F7 現在、あなたと一緒に住まいの方をすべてお答えください。(○印はいくつでも)

- |        |         |                    |
|--------|---------|--------------------|
| 1 配偶者  | 5 配偶者の父 | 9 配偶者の祖父           |
| 2 子供   | 6 配偶者の母 | 10 配偶者の祖母          |
| 3 自分の父 | 7 自分の祖父 | 11 兄弟姉妹            |
| 4 自分の母 | 8 自分の祖母 | 12 その他(具体的に      ) |
|        |         | 13 なし(ひとり住まい)      |

F8 あなたのご両親・配偶者のご両親は、あなたとどの程度離れた場所にお住まいですか。

**◎あなたのご両親は…(○印はひとつだけ)**

- 1 同居している  
 2 徒歩で往き来できる距離  
 3 乗り物を利用して30分未満の距離  
 4 乗り物を利用して30分～1時間未満の距離  
 5 乗り物を利用して1時間～2時間未満の距離  
 6 乗り物を利用して2時間以上の距離  
 7 両親ともすでに亡くなっている

**◎配偶者のご両親は…(○印はひとつだけ)**

- 1 同居している  
 2 徒歩で往き来できる距離  
 3 乗り物を利用して30分未満の距離  
 4 乗り物を利用して30分～1時間未満の距離  
 5 乗り物を利用して1時間～2時間未満の距離  
 6 乗り物を利用して2時間以上の距離  
 7 両親ともすでに亡くなっている  
 8 結婚していないのでいない

F9 あなたが現在お住まいの住宅は、以下のどれにあたりますか。(○印はひとつだけ)

1 持ち家一戸建て(自分の代で取得・建て替え)	5 貸家・賃貸マンション・賃貸アパート
2 持ち家一戸建て(親の持ち家)	6 社宅・官舎・寮など
3 持ち家マンション(自分の代で取得)	7 その他(具体的に )
4 持ち家マンション(親の持ち家)	

F10 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。(○印はひとつだけ)

1 中学校	3 専門学校・専修学校	5 大学・大学院
2 高校	4 短大・高専	6 その他(具体的に )

F11 あなたは、政府の一般的な政策としてどの分野が重要だと思いますか。次の中から3つまでお答えください。  
(○印は3つまで)

1 土地・住宅政策	5 介護政策	9 景気対策
2 子供の教育政策	6 年金政策	10 失業・雇用政策
3 病気になったときの医療政策	7 環境政策	11 その他の政策
4 出産・子育てに対する支援策	8 防衛政策	(具体的に )

**■ここからは、あなたのお仕事についておたずねします。**

Q1 あなたは現在、収入を伴う仕事に就いていますか。パート・アルバイト等も含まれます。(○印はひとつだけ)

1 就いている	2 就いていない	→ 次ページQ10へおすすみください
---------	----------	--------------------

Q2 あなたの就業形態は、次のどれにあてはまりますか。(○印はひとつだけ)

1 正社員・正職員・公務員	3 派遣社員	5 自宅就労(具体的に )
2 パート・アルバイト・契約社員	4 自営業主・家族従事者	6 その他(具体的に )

次ページQ10へおすすみください ←

Q3 あなたはどのような時間帯に勤務していますか。平日の通常の出勤時間と帰宅時間をお答えください。

	出勤時刻 (ご自宅を出る時刻)	帰宅時刻 (ご自宅に到着する時刻)	勤務時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたご自身の勤務時間は…	午前 午後 時台	午前 午後 時台	勤務時間不定

Q4 あなたの職場までの片道通勤時間をお答えください。

◎あなたの職場までは、片道  時間  分

Q5 あなたの通常労働時間はどのくらいですか。

	1日の労働時間は	週に何日勤務していますか	労働時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたご自身の労働時間は…	1日平均 時間	週に平均 日	労働時間不定

※労働時間は、残業時間を含めてお答えください。ただし休憩時間は除きます。

Q6 あなたの職種をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 現業職・技能職	3 営業・販売・サービス職	5 管理職・会社経営職
2 事務職	4 技術・研究・専門職	6 その他(具体的に )

Q7 現在の勤務先での勤続年数をお答えください。

◎現在の勤務先では、勤続  年目 ※1999年12月31日現在でご記入ください

Q8 あなたの勤務先の正社員・正職員の人数をお答えください。他の支社・支店等も含め、あなたが所属する企業・組織全体の人数でお答えください。(○印はひとつだけ)

1 10人未満	3 30~99人	5 300~999人	7 官公庁
2 10~29人	4 100~299人	6 1,000人以上	

Q9 差し支えなければ、あなたの1999年1月~12月の年間収入を税込みでお答えください。(○印はひとつだけ)

1 50万円未満	3 100~200万円未満	5 400~600万円未満	7 800~1,000万円未満
2 50~100万円未満	4 200~400万円未満	6 600~800万円未満	8 1,000万円以上

■ここからは、あなたの配偶者のお仕事についておたずねします。

配偶者のいない方は次ページQ16へおすすみください。

Q10 あなたの配偶者は、現在、収入を伴う仕事に就いていますか。パート・アルバイト等も含まれます。

(○印はひとつだけ)

1 就いている	2 就いていない
---------	----------

→ 次ページQ16へおすすみください

Q11 あなたの配偶者の就業形態をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 正社員・正職員・公務員	3 派遣社員	5 自宅就労(具体的に )
2 パート・アルバイト・契約社員	4 自営業主・家族従事者	6 その他(具体的に )

次ページQ16へおすすみください

Q12 あなたの配偶者はどのような時間帯に勤務していますか。

平日の通常の出勤時間と帰宅時間をお答えください

	出勤時刻 (ご自宅を出る時刻)	帰宅時刻 (ご自宅に到着する時刻)	勤務時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたの配偶者の勤務時間は…	午前 午後 時台	午前 午後 時台	勤務時間不定

Q13 あなたの配偶者の通常労働時間はどのくらいですか。

	1日の労働時間は	週に何日勤務していますか	労働時間が不定の方は 以下を○で囲んでください
◎あなたの配偶者の労働時間は…	1日平均 時間	週に平均 日	労働時間不定

※労働時間は、残業時間を含めてお答えください。ただし休憩時間は除きます。

Q14 あなたの配偶者の職種をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 現業職・技能職	3 営業・販売・サービス職	5 管理職・会社経営職
2 事務職	4 技術・研究・専門職	6 その他(具体的に )

Q15 差し支えなければ、あなたの配偶者の1999年1月～12月の年間収入を税込みでお答えください。

(○印はひとつだけ)

1 50万円未満	3 100～200万円未満	5 400～600万円未満	7 800～1,000万円未満
2 50～100万円未満	4 200～400万円未満	6 600～800万円未満	8 1,000万円以上

■ここからは「仕事と家庭の両立」についておたずねします。全員の方がお答えください。

Q16 あなたが、終業時刻から1時間未満で退社する日はどのくらいありますか。(○印はひとつだけ)

1 ほとんどない	3 週に2日程度	5 週に4日程度
2 週に1日程度	4 週に3日程度	6 ほぼ毎日 ▶次ページQ17へ

付問 あなたが終業時刻すぐに退社しない(できない)理由は何ですか。主な理由を2つまでお答えください。

ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 自分が行うべき仕事の量が多いから
- 2 終業時間後に、会議やミーティング、勉強会などが開かれるから
- 3 定時では退社しづらい雰囲気が職場にあるから
- 4 仕事や職場生活にやりがいや充実感を感じるから
- 5 残業によって収入を増やしたいから
- 6 その他(具体的に )



Q17 あなたは、勤務先を出たあと家に帰るまでの時間をどのように過ごしていますか。最も頻度が高い順に3位までお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位
2 位
3 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 まっすぐに帰宅する
- 2 上司や同僚、部下とのつきあいの後、帰宅する
- 3 取引先の人とのつきあいの後、帰宅する
- 4 友人・知人とのつきあいの後、帰宅する
- 5 スポーツジムや習い事、資格学校などに通ってから帰宅する
- 6 夕飯の買い物などを済ましてから、帰宅する
- 7 買い物やひとりでフラフラして自由な時間を過ごした後帰宅する
- 8 その他(具体的に )

**■引き続き全員の方におたずねします。現在独身の方も、結婚されたときのことを想定してお答えください。**

Q18 あなたは職場で、育児の都合や家族の病気など家庭の都合によって自分の仕事をこなせないとき、どうすることが多いですか。もっともあてはまるものを2つまでお答えください。(○印は2つまで)

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1 職場で代わりの人に頼む   | 5 仕事の性質上、自分で裁量できるので問題はない |
| 2 遅刻・早退・有給を利用する | 6 配偶者や他の家族がいるのでこうした問題はない |
| 3 残業を利用する       | 7 その他(具体的に )             |
| 4 家に仕事を持ち帰る     |                          |

**■Q19は女性の方だけにおたずねします。男性の方はQ20へおすすみください。**

Q19 もし夫の収入が高かったり、その他に収入があった場合、あなたは現在の仕事を続けたいですか。(○印はひとつだけ)

- 1 現在の仕事を続けたい    2 もっと楽な仕事に代わりたい    3 仕事はやめたい    4 わからない

Q20 子育て期に、あなたはどのような働き方をしたいと思いますか。(○印はひとつだけ)

- 1 育児に使える時間がなくなっても、仕事に専念する
- 2 どちらかといえば、育児に使える時間より仕事を優先させて働く
- 3 どちらかといえば、仕事より、育児に使える時間を優先させて働く
- 4 働かずに、育児に専念する

Q21 子育て期に、あなたの配偶者にはどのような働き方を期待しますか。(○印はひとつだけ)

- 1 育児に使える時間がなくなっても、仕事に専念する
- 2 どちらかといえば、育児に使える時間より仕事を優先させて働く
- 3 どちらかといえば、仕事より、育児に使える時間を優先させて働く
- 4 働かずに、育児に専念する

**■ここからは「結婚と夫婦に対する考え方」についておたずねします。**

Q22 夫婦間の責任や規範について、以下のような意見があります。あなたはそれぞれの意見に賛成ですか、反対ですか。(○印はひとつずつ)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
①家族の生活を経済的に支える責任は夫にある	1	2	3	4
②家事や育児の責任は妻にある	1	2	3	4
③夫の収入が多ければ、妻が無理して働く必要はない	1	2	3	4
④なんといっても女性の幸せは結婚にある	1	2	3	4
⑤妻が専業主婦であっても、夫は家事・育児に関わるべきである	1	2	3	4

**■Q23は現在独身の方におたずねします。既婚の方はQ24へおすすみください。**

Q23 あなたは結婚したいと思いますか。(○印はひとつだけ)

1 結婚したい相手がいる → 付問1を答えてQ24へ  
 2 結婚したいと思うが相手がない → 付問2を答えてQ24へ  
 3 結婚したいとは思わない → Q24へ

付問1 Q23で「1」とお答えの方におたずねします。あなたがまだ結婚しない理由は何ですか。もつともあてはまるものをひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

1 相手が結婚を望んでいない  
 2 経済条件が整わない  
 3 親が反対している  
 4 独身生活を楽しまたい  
 5 仕事を優先したい  
 6 今は未婚だがまもなく結婚する予定である  
 7 親の面倒をみなくてはならない  
 8 その他(具体的に )  
 →回答後はQ24へおすすみください

付問2 Q23で「2」とお答えの方におたずねします。あなたのご自分の結婚について、今後どうなりたいですか。あなたの気持ちに近い方をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 理想的な相手が現れなければ、結婚しなくても構わない  
 2 ある程度の年齢までには結婚したい

**■ここからは「子供と育児に対する考え方」についておたずねします。**

**未既婚に関わらず、全員の方がお答えください。**

Q24 あなたは将来、自分の子供の数は何人にしたいですか。

◎自分の子供は  人にしたい ※「子供はいらない」とお考えの方は「0」とご記入ください

**■Q25 は現在お子さんのいらっしゃる方におたずねします。いない方はQ26へ**

Q25 あなたご自身と配偶者以外で、最初のお子さんが1歳になるまで主に世話をしたのは誰ですか。主に世話をした方をひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

1 配偶者の親	3 近所の人	5 家政婦など有料で世話をしてくれる人	7 特にいない
2 その他の家族	4 保育所	6 その他(具体的に )	

Q26 お子さんがいらっしゃらない方も含め、全員の方におたずねします。あなたの最初のお子さんは、何歳から幼稚園・保育所に通いましたか。まだ該当年齢のお子さんがいらっしゃらない場合は、予定している年齢をお答えください。(○印はひとつだけ)

1 満1歳以下の時から	2 1歳～3歳未満	3 3歳から	4 4歳から	5 5歳から
-------------	-----------	--------	--------	--------

**■Q27～Q30 は現在結婚されている方におたずねします。独身の方は次ページQ31へ**

Q27 あなたのご家庭では、家事と育児の分担はどのようになっていますか。最も近いものをお答えください。(○印はひとつだけ)

1 夫がほとんど家事・育児をしている	3 ほぼ半々で分担している	4 妻7、夫3の割合で分担している
2 夫7、妻3の割合で分担している	5 妻がほとんど家事・育児をしている	

Q28 あなたが自分の子供を産んだり育てたりする上で、不安を感じるのはどのようなことですか。主なものを2つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

**◎この中から選んで左の回答欄に記入**

- 1 家事や育児の負担が増えること
- 2 自分の仕事に支障が出ること
- 3 養育や教育にお金がかかること
- 4 住居が狭いこと
- 5 両親や配偶者の家族などとの間で、出産・育児に対する考え方に違いがあること
- 6 その他(具体的に )

Q29 出産・育児について以下のような意見があります。あなたはそれぞれの意見に対してどのように思われますか。あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(○印はひとつずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①やはり子供の身になって育児ができるのは母親である	1	2	3	4
②子供を産めば、女性も自然に母性愛に目覚めるものだ	1	2	3	4
③少なくとも子供が3歳になるまでは母親の手で育てるべきだ	1	2	3	4
④女性は子供を産んでこそ一人前である	1	2	3	4
⑤女性が出産を選択しない権利も認められるべきだ	1	2	3	4
⑥出産は女性の権利であり、女性だけに許された特権である	1	2	3	4
⑦女性の妊娠・出産は、女性の仕事や自由の確保の妨げになる	1	2	3	4
⑧男性も妻の出産に立ち会うべきだ	1	2	3	4

Q30 あなたはご自分のお子さんにどのような期待をしていらっしゃいますか。あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(○印はひとつずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①子供には将来、豊かな生活をしてほしい	1	2	3	4
②子供は親のものというよりも、社会全体のものである	1	2	3	4
③子供の人生と親の人生は別である	1	2	3	4
④自分の代で得た財産は、子供には残さずに使いたい	1	2	3	4
⑤子供には教育を含めてできるだけ経済援助をしたい	1	2	3	4
⑥自分の老後は子供には面倒をかけないつもりだ	1	2	3	4
⑦老後は子供と同居しなくても、近くには住みたい	1	2	3	4
⑧自分の墓には、子供や孫がお参りしてほしい	1	2	3	4

※お子さんがいらっしゃらない方も、もしいた場合を想定してお答えください

■ここからは「子育ての支援」についておたずねします。全員の方がお答えください。

Q31 最近子供の数が少なくなってきました。政府は少子化対策をとることが必要だと思いますか。

(○印はひとつだけ)

- 1 必要である      2 ある程度必要である      3 あまり必要ではない      4 必要ではない

Q32 もし政府が子育て支援対策をとるとしたら、何を最も重視すべきだと思いますか。以下の中からひとつだけお答えください。(○印はひとつだけ)

- 1 育児への経済的援助(育児期間中の減税措置や児童手当の充実など)  
 2 保育所、地域での子育て支援などサービスの充実  
 3 育児休業制度の拡充や再就職支援など働き方の改善  
 4 その他(具体的に )

Q33 育児と仕事の両立のために、勤務先の職場環境の整備として何が重要だと思いますか。重要と思う順に3つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

3 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 育児休業中の貸金保障の拡大  
 2 育児休業後の職場復帰の保証  
 3 育児休業期間の延長  
 4 パートタイム労働の賃金や雇用保障の充実  
 5 育児のための短時間勤務制度  
 6 残業時間を含めた労働時間の短縮  
 7 フレックスタイム制の適用  
 8 在宅勤務の充実  
 9 職場保育の充実  
 10 子供が急病になったときの看護休暇  
 11 子育て後の再雇用制度や再就職の支援制度  
 12 職種によるコース別の雇用管理  
 13 育児期間中の上司や同僚の理解  
 14 その他(具体的に )

Q34 育児と仕事の両立のために、保育所等のサービスの充実として何が重要だと思いますか。重要と思う順に3つまでお答えください。ひとつしかないときはひとつでも結構です。

1 位

2 位

3 位

◎この中から選んで左の回答欄に記入

- 1 保育所の時間延長
- 2 保育料の低減化
- 3 休日保育の充実
- 4 夜間保育の充実
- 5 0歳児保育の拡充
- 6 駅前保育の充実
- 7 訪問保育の充実
- 8 学童保育の充実
- 9 保育に関する相談機関の充実
- 10 地域ボランティアの充実
- 11 その他(具体的に )

Q35 最後に、政府や市区などの地方自治体に対してご意見があればご記入ください。

--

**ご協力ありがとうございました。**

**2月7日(月)までに、同封の返送用封筒にてご投函ください。**

SUMMARY

F 1 性別

REPORT.NO:0001		page 1	
TOTAL	1 女性	2 男性	3 無回答
1,094 100.0	561 51.3	533 48.7	0 0.0

F 2 年齢

REPORT.NO:0002		page 3	
TOTAL	1 30~34 歳	2 35~39 歳	3 無回答
1,094 100.0	538 49.2	556 50.8	0 0.0
			9901 平均
			34.6 37,801

F 3 未既婚

REPORT.NO:0003		page 5	
TOTAL	1 結婚していない	2 結婚している (初婚)	3 結婚している (再婚)
1,094 100.0	145 13.3	900 82.3	22 2.0
			4 離婚
			24 2.2
			5 死別
			3 0.3
			6 無回答
			0 0.0

F 3 結婚後年数 (初婚者)

REPORT.NO:0004		page 7	
TOTAL	1 1年目	2 2~3年目	3 4~5年目
900 100.0	20 2.2	77 8.6	121 13.4
			4 6~10年目
			375 41.7
			5 それ以上
			266 29.6
			6 無回答
			41 4.6
			9901 平均
			8.4 7,260

F 3 結婚後年数 (再婚者)

REPORT.NO:0005		page 9	
TOTAL	1 1年目	2 2~3年目	3 4~5年目
22 100.0	4 18.2	7 31.8	13 13.6
			4 6~10年目
			6 27.3
			5 それ以上
			1 4.5
			6 無回答
			4.5 89
			9901 平均
			4.2 89

SUMMARY

F 4 あなたは専業主婦ですか (回答者：既婚女性)

REPORT.NO:0006	1			2			3			page 11
	TOTAL	はい	いいえ	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
	492 100.0	223 45.3	268 54.5	1		0.2				

F 5 子供の有無 (回答者：既婚者)

REPORT.NO:0007	1			2			3			page 13
	TOTAL	子供がいる	子供はいない	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
	949 100.0	781 82.3	161 17.0	7		0.7				

F 5 子供の人数 (回答者：既婚者子供あり)

REPORT.NO:0008	1		2		3		4		5		page 15
	TOTAL	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均	9901			
	781 100.0	241 30.9	409 52.4	118 15.1	12 1.5	0.1	1.9	1,463			

F 5 子供の性別：第一子 (回答者：既婚者子供1名以上)

REPORT.NO:0009	1		2		3		page 17
	TOTAL	男性	女性	無回答	男性	女性	
	780 100.0	377 48.3	400 51.3	3	0.4		

F 5 子供の性別：第二子 (回答者：既婚者子供2名以上)

REPORT.NO:0010	1		2		3		page 19
	TOTAL	男性	女性	無回答	男性	女性	
	539 100.0	285 52.9	253 46.9	1	0.2		

SUMMARY

F 5 子供の性別 : 第三子 (回答者: 既婚者子供 3 名以上)

page 21

REPORT.NO:0011	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901		
	TOTAL	男性	女性	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	平均
	130	66	64	0																	
	100.0	50.8	49.2	0.0																	

F 5 子供の年齢 : 第一子 (回答者: 既婚者子供 1 名以上)

page 23

REPORT.NO:0012	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	TOTAL	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	無回答	無回答	平均
	780	188	141	200	169	62	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.9	6.7
	100.0	24.1	18.1	25.6	21.7	7.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	5.213	

F 5 子供の年齢 : 第二子 (回答者: 既婚者子供 2 名以上)

page 25

REPORT.NO:0013	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	TOTAL	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	無回答	無回答	平均
	539	211	101	128	81	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	1.1	5.1
	100.0	39.1	18.7	23.4	15.0	2.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.1	2.713	

F 5 子供の年齢 : 第三子 (回答者: 既婚者子供 3 名以上)

page 27

REPORT.NO:0014	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	TOTAL	~3歳	~5歳	~8歳	~12歳	~15歳	~18歳	~20歳	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	それ以上	無回答	無回答	平均
	130	65	26	30	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.9
	100.0	50.0	20.0	23.1	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	513

F 6 世帯構成員数

page 29

REPORT.NO:0015	1		2		3		4		5		6		7		8		9		9901	
	TOTAL	1人(単身)	2人	3人	4人	5人以上	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	平均
	1,094	57	167	267	384	219	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
	100.0	5.2	15.3	24.4	35.1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,933



SUMMARY

F 7 世帯構成員

REPORT.NO:0016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
TOTAL	配偶者	子供	実父	実母	養父	養母	実祖父	実祖母	養祖父	養祖母	兄弟姉妹	その他	なし(単身世帯)	無回答	31
1,094 100.0	910 83.2	781 71.4	118 10.8	163 14.9	39 3.6	62 5.7	1 0.1	8 0.7	0.1	0.3	41 3.7	11 1.0	57 5.2	2 0.2	

F 8 自分の両親の居住地

REPORT.NO:0017	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
TOTAL	同居している	徒歩で往き来できる距離	乗り物を利用して30分未満の距離	乗り物を利用して30分~1時間の距離	乗り物を利用して1時間~2時間の距離	乗り物を利用して2時間以上の距離	両親ともすでに亡くなっている	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	33
1,094 100.0	171 15.6	134 12.2	146 13.3	149 13.6	170 15.5	291 26.6	24 2.2	9 0.8							

F 8 配偶者の両親の居住地

REPORT.NO:0018	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
TOTAL	同居している	徒歩で往き来できる距離	乗り物を利用して30分未満の距離	乗り物を利用して30分~1時間の距離	乗り物を利用して1時間~2時間の距離	乗り物を利用して2時間以上の距離	両親ともすでに亡くなっている	結婚していない	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	35
1,094 100.0	68 6.2	118 10.8	141 12.9	137 12.5	143 13.1	286 26.1	28 2.6	150 13.7	23 2.1						

F 9 住居形態

REPORT.NO:0019	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
TOTAL	持ち家一戸建て(自分の建て、建て替え)	持ち家一戸建て(親の持ち家)	持ち家マンション(自分の代で取得)	持ち家マンション(親の持ち家)	賃貸マンション・賃貸アパート	社宅・借舎・寮など	その他	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	37
1,094 100.0	274 25.0	158 14.4	188 17.2	19 1.7	365 33.4	81 7.4	6 0.5	3 0.3							

F 1 0 最終学歴

REPORT.NO:0020	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	page
TOTAL	中学校	高校	専門学校・専修学校	短大・高専	大学・大学院	その他	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	39
1,094 100.0	21 1.9	333 30.4	153 14.0	152 13.9	432 39.5	0 0.0	3 0.3								

SUMMARY

F 1 1 一般的な政策としての分野が重要だと思いますか (3 つまで)

REPORT.NO:0021	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	page
TOTAL	土地・住宅政策	子供の教育政策	病気になるたときの医療政策	出産・子育てに対する支援政策	介護政策	年金政策	環境政策	防衛政策	景気対策	失業・雇用政策	その他の政策	無回答	41
1,094 100.0	290 20.1	375 34.3	245 22.4	307 28.1	351 32.1	392 35.8	404 36.9	44 4.0	556 50.8	264 24.1	20 1.8	2 0.2	

Q 1 現在、収入を伴う仕事に就いていますか

REPORT.NO:0022	1	2	3	page
TOTAL	就いている	就いていない	無回答	43
870 100.0	870 79.5	222 20.3	2 0.2	

Q 2 あなたの就業形態は

REPORT.NO:0023	1	2	3	4	5	6	7	page
TOTAL	正社員・正職員	パート・アルバイト・契約社員	派遣社員	自営業主・家族従業員	自宅就労	その他	無回答	45
870 100.0	651 74.8	139 16.0	13 1.5	50 5.7	12 1.4	4 0.5	1 0.1	

Q 3 平日の出勤時刻は (回答者：自宅就労除く)

REPORT.NO:0024	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	page
TOTAL	午前6時より前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時台	午前11時台	午前12時台	それより後	勤務時間不定	無回答	平均	47
857 100.0	17 2.0	83 9.7	328 38.3	255 29.8	64 7.5	7 0.8	0 0.0	5 0.6	4 0.5	92 10.7	2 0.2	6.8 5,780	

Q 3 平日の帰宅時刻は (回答者：自宅就労除く)

REPORT.NO:0025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	page
TOTAL	午後5時より前	午後5時台	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午後12時台	それより後	勤務時間不定	無回答	平均
857 100.0	87 10.2	67 7.8	144 16.8	129 15.1	124 14.5	99 11.6	66 7.7	40 4.7	4 0.5	0 0.0	92 10.7	5 0.6	16.8 14,350

SUMMARY

Q 4 片道の通勤時間は (回答者: 自宅就労除く)

page 51

REPORT.NO:0026	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901
TOTAL	30分未満	60分未満	90分未満	120分未満	120分以上	無回答	平均					
	857 100.0	225 26.3	268 31.3	65 7.6	16 1.9	17 2.0	46.7 39,269					

Q 5 1日の労働時間は (回答者: 自宅就労除く)

page 53

REPORT.NO:0027	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901	
TOTAL	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間未満	12時間以上	労働時間不定	無回答	平均	
	857 100.0	36 4.2	28 3.3	35 4.1	74 8.6	218 25.4	133 15.5	147 17.2	43 5.0	83 9.7	58 6.8	2 0.2	8.2 7,002

Q 5 1週間の労働日数は (回答者: 自宅就労除く)

page 55

REPORT.NO:0028	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901
TOTAL	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	労働時間不定	無回答	平均		
	857 100.0	0 0.0	12 1.4	22 2.6	33 3.9	579 67.6	96 11.2	4 0.5	58 6.8	53 6.2	4 4.7	3,766

Q 6 現在の職種は (回答者: 自宅就労除く)

page 57

REPORT.NO:0029	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901
TOTAL	視覚職・技能職	事務職	営業・販売・サービス職	技術・研究・専門職	管理職・会社経営職	その他	無回答					
	857 100.0	146 17.0	255 29.8	201 23.5	183 21.4	51 6.0	17 2.0	4 0.5				

Q 7 現在の勤務先での勤続年数は (回答者: 自宅就労除く)

page 59

REPORT.NO:0030	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901
TOTAL	1年目	2~3年目	4~5年目	6~10年目	11~15年目	16~20年目	21年目以上	無回答	平均			
	857 100.0	115 13.4	108 12.6	82 9.6	244 28.5	211 24.6	86 10.0	10 1.2	1 0.1	6.3 7,075		

SUMMARY

Q 8 勤務先の正社員・正職員の人数は（他支店・他支社等含む）（回答者：自宅就労除く）

page 61

REPORT.NO.:0031	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOTAL	10人未満	10~29人	30~99人	100~299人	300~999人	1000人以上	官公庁	無回答	
	857 100.0	133 15.5	66 7.7	94 11.0	95 11.1	276 32.2	84 9.8	12 1.4	

Q 9 年間収入は（税込み）（回答者：自宅就労除く）

page 63

REPORT.NO.:0032	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOTAL	5.0万円未満	5.0~10.0万円未満	10.0~20.0万円未満	20.0~40.0万円未満	40.0~60.0万円未満	60.0~80.0万円未満	80.0~100.0万円未満	100.0万円以上	無回答
	857 100.0	37 4.3	54 6.3	52 6.1	120 14.0	271 31.6	302 35.2	22 2.6	43 5.0

Q 10 配偶者は、現在収入を伴う仕事に就いていますか（回答者：既婚者）

page 65

REPORT.NO.:0033	1	2	3
TOTAL	就いている	就いていない	無回答
	949 100.0	631 66.5	285 30.0

Q 11 配偶者の就業形態は（回答者：既婚者）

page 67

REPORT.NO.:0034	1	2	3	4	5	6	7
TOTAL	正社員・正職員・公務員	パート・アルバイト・契約社員	派遣社員	自営業主・専業主婦	自宅就労	その他	無回答
	631 100.0	474 75.1	82 13.0	13 2.1	48 7.6	9 1.4	2 0.3
							3 0.5

Q 12 配偶者の平日の出勤時刻は（回答者：配偶者自宅就労除く）

page 69

REPORT.NO.:0035	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	9901
TOTAL	午前6時より前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時台	午前11時台	午前12時台	それより後	勤務時間不定	無回答	平均
	619 100.0	14 2.3	68 11.0	225 36.3	153 24.7	41 6.6	6 1.0	3 0.5	7 1.1	91 14.7	5 0.8	6.5 3,993